

2025年度の再エネ出力制御の見通しについて

2025年9月24日
中国電力ネットワーク株式会社

1. 2025年度の再エネ出力制御の見通しについて（前提条件）

1

■ 2025年度における中国エリアの再エネ出力制御の見通しについて、以下の条件で算定。

項目	条件	備考
需要	2023年度の前日想定・実績データ※1	—
連系線活用量※2	45%送電	2025年度4～6月の 連系線活用実績を反映
太陽光、風力	2023年度の前日想定・実績データ※1	2025年度の設備量で補正
供給力 (揚水、原子力、 火力)	2025年度の最新の補修計画を反映 優先給電ルールに基づく最低出力	—
その他	2025年度4～7月の出力制御量は実績値	—

※1 オフライン制御量算定に前日想定値、オンライン制御量算定に実績値を使用

※2 関西中国間連系線の運用容量から、関門連系線および本四連系線の運用容量を控除した値に対する当社活用量



2. 2025年度の再エネ出力制御の見通しについて（見直し）

2

■ 再エネ出力制御の見通しを算定した結果、出力制御率は1.49%程度となる見込み。

〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2025年度 見込み	3.10% (0.82億kWh) 〔太陽光：3.52%〕 〔風力：1.00%〕	1.65% (0.36億kWh) 〔太陽光：1.65%〕 〔風力：－〕	1.65% (0.37億kWh) 〔太陽光：1.65%〕 〔風力：－〕	1.64% (0.18億kWh) 〔太陽光：1.65%〕 〔風力：0.63%〕	2.11% (1.73億kWh) 〔太陽光：2.18%〕 〔風力：1.00%〕	1.49% (1.48億kWh) 〔太陽光：1.52%〕 〔風力：1.00%〕
(参考) 2025年度 I/A全体オンライン化	1.54% (0.72億kWh) 〔太陽光：1.64%〕 〔風力：0.51%〕		1.64% (0.39億kWh) 〔太陽光：1.64%〕 〔風力：－〕	1.64% (0.18億kWh) 〔太陽光：1.64%〕 〔風力：0.51%〕	1.58% (1.29億kWh) 〔太陽光：1.64%〕 〔風力：0.51%〕	1.31% (1.29億kWh) 〔太陽光：1.35%〕 〔風力：0.51%〕

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフラインの制御量相当(8時間停止)に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合。

※3 四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

〈2025年度出力制御見通し（全設備）の内訳〉

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	2.07% (0.87億kWh) 〔太陽光：2.09%〕 〔風力：1.68%〕	1.06% (0.60億kWh) 〔太陽光：1.08%〕 〔風力：0.77%〕	1.49% (1.48億kWh) 〔太陽光：1.52%〕 〔風力：1.00%〕



(参考) 2025年度の再エネ出力制御の見通しについて (当初想定)

3

2025年1月23日 第1回次世代電力系統ワーキンググループ 中国電力NW資料 (抜粋)

〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率 (制御電力量) [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2025年度 見込み	5.00% (1.57億kWh) 〔太陽光：6.35%〕 〔風力：0.80%〕	3.16% (0.61億kWh) 〔太陽光：3.16%〕 〔風力：－〕	3.16% (0.68億kWh) 〔太陽光：3.16%〕 〔風力：－〕	3.16% (0.28億kWh) 〔太陽光：3.16%〕 〔風力：0.45%〕	3.88% (3.14億kWh) 〔太陽光：4.20%〕 〔風力：0.80%〕	2.82% (2.75億kWh) 〔太陽光：2.99%〕 〔風力：0.80%〕
(参考) 2025年度 Iリア全体オンライン化	2.90% (1.43億kWh) 〔太陽光：3.37%〕 〔風力：0.33%〕		3.37% (0.76億kWh) 〔太陽光：3.37%〕 〔風力：－〕	3.36% (0.30億kWh) 〔太陽光：3.37%〕 〔風力：0.33%〕	3.08% (2.49億kWh) 〔太陽光：3.37%〕 〔風力：0.33%〕	2.56% (2.49億kWh) 〔太陽光：2.75%〕 〔風力：0.33%〕

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフラインの制御量相当(8時間停止)に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合。

※3 四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。



3. 2025年度当初想定に対する増減分析

■ 当初想定と比較し、主に連系線活用量の増加により、出力制御率が減少する見込み。

項目	内容
需要	4～6月の8～16時の実績は、当初想定と比較し概ね想定通り。 8月以降の見通しは、至近実績が概ね想定通りであったことを踏まえ、当初想定値を採用したため、増減なし。
連系線活用量	4～6月の再エネ出力制御時の実績は65%程度で、当初想定と比較し45ポイント程度増加。 8月以降の見通しは、至近実績を踏まえ、45%に変更したことにより、連系線活用量が平均して30万kW程度増加。
太陽光、風力	4～6月の太陽光・風力の発電実績は、当初想定と比較し概ね想定通り。 8月以降の見通しは、設備量について至近の増加量、連系予定を反映した結果、概ね当初想定通りとなったため増減なし。
供給力 (揚水、原子力、 火力)	4～6月は、出力制御量に大きく影響する補修計画の変更なし。 8月以降の見通しは、揚水の補修作業の追加等、最新の補修計画を反映したことにより、揚水可能量が平均して32万kW程度減少。



4. 電源（太陽光、風力）のオンライン化

5

- 旧ルールのおフライン事業者に対して、出力制御に係る問い合わせ時等、直接対話する機会を捉え、当社HPや国、太陽光・風力の発電事業者団体の公開資料を活用してオンライン化のメリットを説明し、出力制御機能付PCS等への切替の促進活動を継続して実施。

		2025年3月末	(参考)2024年9月末
太陽光	①オンライン化率 ((②+④)/(②+③+④))	85.6%	82.9%
	②新ルール・無制限無補償ルール, オンライン事業者	253.9万kW	245.6万kW
	③旧ルール, オフライン事業者	68.9万kW	80.6万kW
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	156.7万kW	145.0万kW
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 (④/(③+④))	69.5%	64.3%
風力	⑥オンライン化率 ((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))	0.2%	0.2%
	⑦新ルール・無制限無補償ルール, オンライン事業者	0.06万kW	0.06万kW
	⑧旧ルール, オフライン事業者	34.1万kW	34.1万kW
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	-	-
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 (⑨/(⑧+⑨))	0.0%	0.0%

(備考) 旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者、新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は10kW以上）について算定。
オンライン代理制御対象となる旧ルール（一部新ルール）500kW未満の太陽光は除く。



5. 再エネの導入状況について

■ 2011年度から2024年度にかけて、太陽光は39万kWから726万kW、風力は30万kWから35万kWへ増加。

設備量 [万kW]

【中国エリアの太陽光および風力の導入量】

